

むさしの景観だより

歩いて考える景観まちづくりワークショップ第2回
「農と緑の歴史散策～未来に託したいもの～」を開催しました

第2号

平成27年
7月発行

5月24日(日)に武蔵野ふるさと歴史館にて、ワークショップ第2回「農と緑の歴史散策～未来に託したいもの～」を開催しました。

前半は歴史館にて、館長の田川さんによる「武蔵野市の歴史について」と石塚計画デザイン事務所の千葉さんによる「農とみどりの景観について」というテーマのレクチャーでした。



レクチャーのようす

後半はグループに分かれて武蔵境の3コースを歩き、歴史館に戻ってから各グループで「未来に託したい景観ベスト5」を選びました。ベスト5には、花の通学路、集合住宅の公開空地の緑、観音院と武蔵野プレイス、JR高架下の緑をひきたてる景観づくりなどが選ばれました。

武蔵境地域には、仙川、玉川上水、千川上水といった貴重な水辺空間や、のんびりとした景観を醸し出す農地や雑木林、境南通りをはじめとする美しい並木道など、豊かで多様な自然環境が残されています。

参加者の皆さんからは、「多く残る緑が人の手によって守られてきたことを実感できた」「見る視点を変えるとまったく違った街に見える」といった感想をいただきました。



まち歩きの様子

まち歩きのルート



まち歩きのルートは、ふるさと歴史館を起点として武蔵境駅や武蔵野プレイス周辺を巡るコース、境山野緑地や玉川上水を巡るコース、サンヴァリエ桜堤を中心に緑豊かな集合住宅を巡るコースを設定し、各コース2グループずつの計6グループでまち歩きを行いました。

未来に託したい景観ベスト5（*各グループから1つを抜粋）

1 グループ

集合住宅（デライトシティ）の周辺に配慮された景観



緑豊かな公開空地で水辺もある。3階までとの外壁の色の違いや遠くから見たときの色や形に、圧迫感の軽減などの配慮がある。

2 グループ

農業ふれあい公園



都市農業との接点のある景観。子どもが水辺でザリガニ採りで遊んでいる風景、親子で楽しめる風景があり、昔ながらの井戸や小さな田んぼも見られ、季節を楽しむ景観。

3 グループ

サンヴァリエ桜堤



豊富な緑と水が感じられる景観。桜堤団地から残る巨木や、鳥や虫などの生き物、地域で管理している花壇、子どもが水辺で遊んでいる風景がみられ、親水性も高い。総合的に質の高い景観。

4 グループ

吉野家のケヤキと生垣



地域のランドマークになっている大きなケヤキ、柿の木や道路沿いの生垣など、樹種の選び方が丁寧で、四季折々の風景を楽しむことができる。手入れがしっかりされている。屋根瓦の緑が背景とマッチしている。

5 グループ

花の通学路



空が見えるオープンな花の路（農地・花に囲まれている）。農地があり、季節を感じることができる。農地側の塀がもう少し低いと子どもたちも景色を眺めることができる。

6 グループ

松露庵の印象的な入口



歴史を感じさせるたたずまいが良い。木造の松露庵と鉄筋コンクリートの共同住宅では、全く建物の趣きが違うが、豊かな緑によって、全体が調和しているのが素晴らしい。

問い合わせ

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市役所 都市整備部 まちづくり推進課
電話：0422-60-1872 ファクス：0422-51-9250
Eメール：SEC-MACHIDUKURI@city.musashino.lg.jp



Facebook ページ

<https://www.facebook.com/musashinoscape>

いいね！